

特別講演



谷口真美

早稲田大学大学院商学研究科教授

日本のダイバーシティの課題と展望

日本のダイバーシティ研究の第一人者と云われています。共著書に『ジェンダーと企業経営』（東洋経済新報社）、著書に『ダイバーシティ・マネジメント』など多数があります。テーマに沿って「ダイバーシティとは」「ダイバーシティ・マネジメントとは」「ダイバーシティとパフォーマンスとの関係～5つのパラダイム～」「これからのダイバーシティ・マネジメントの実践」について分かりやすく解説して頂けます。



渡邊幸義

アイエスエフネットグループ代表

雇用創造革命～誰もが働ける社会を目指して

アイエスエフネットグループは、連結従業員 2,546 名で資本金 1 億円の株式会社アイエフネットを筆頭に、国内外に拠点を持つ技術者の派遣やシステム構築 / 運用 / 保守等を担う会社です。グループでは 30 大雇用（30 項目の差別）として、身体的・知的障害者はもちろんのこと、LGBT、犯罪歴のある人、ひきこもりなど社会的に弱い方々を差別することなく、それよりも未来志向やグループの倫理や CS、ホスピタリティの習得へ向けて努力をして頂ける方を重視して採用している現状をご紹介します。また「雇用上の配慮」、「企業のメリット」「苦勞したこと」も具体的にお話して頂けます。



松浦恵子

大分大学医学部教授副学長
広報・男女共同参画推進担当

大分大学ダイバーシティ推進について

大分大学では、平成 22 年度に男女共同参画推進室および本部が設立され、女性研究者支援とともに大学全体で男女共同参画推進が始まりました。支援は①院内保育園設置、②短時間正規雇用、③先進的病児保育施設の開室、④女性医療人キャリア支援センターの設置からなります。女性医療人キャリア支援センターは、主に女性医療人を対象とし、県医師会等と連携し復職に関する相談体制など復職・キャリアアップ支援の基盤整備の他、様々な交流会によるキャリアプラン形成の支援、「パパの会」による男性医療人の子育てと仕事との両立に関する課題抽出や意見交換を開催していることなども紹介して頂けます。



河野真理子

株式会社キャリアン代表取締役
日本生産性本部ダイバーシティ推進センター所長

ダイバーシティ・マネジメントの重要性

ヘルスケア領域において、ダイバーシティ・マネジメントの重要性を 5 つの視点「ダイバーシティ経営の背景」「ダイバーシティの理解」「ダイバーシティ・マネジメントの必要性」「ダイバーシティ・マネジメントの実践」「ヘルスケア領域におけるダイバーシティ・マネジメントの検討と期待」に分けて、系統立ててお話して頂けます。先生はダイバーシティ・マネジメントとは、多様な人材のもつ能力・経験・価値観等を活かし、組織力とするためのマネジメント手法と定義。ダイバーシティ・マネジメントの実践においては、管理職に求められていることや人材育成・キャリア形成支援などをわかりやすく説明して頂けます。



君嶋護男

労務管理教育センター理事長

ハラスメントのない職場を目指して

セクハラ・パワハラによって被害者は苦しみ、事業主は大切な従業員を傷つけ、不幸にも失ったり、企業イメージを低下させたりもします。利益を受ける者は誰もいません。それにもかかわらず、セクハラやパワハラの事件は相変らず発生している現状があります。講演では、実際に裁判で争われた事例や相談事例を数多く学び、反面教師として活用することで、セクハラ・パワハラを減少させることにつながる手法を解説して頂き、更にはセクハラ・パワハラ要因と発生を予防する人材マネジメントをいかに職場で行うか、その根絶に向けてお話して頂きます。